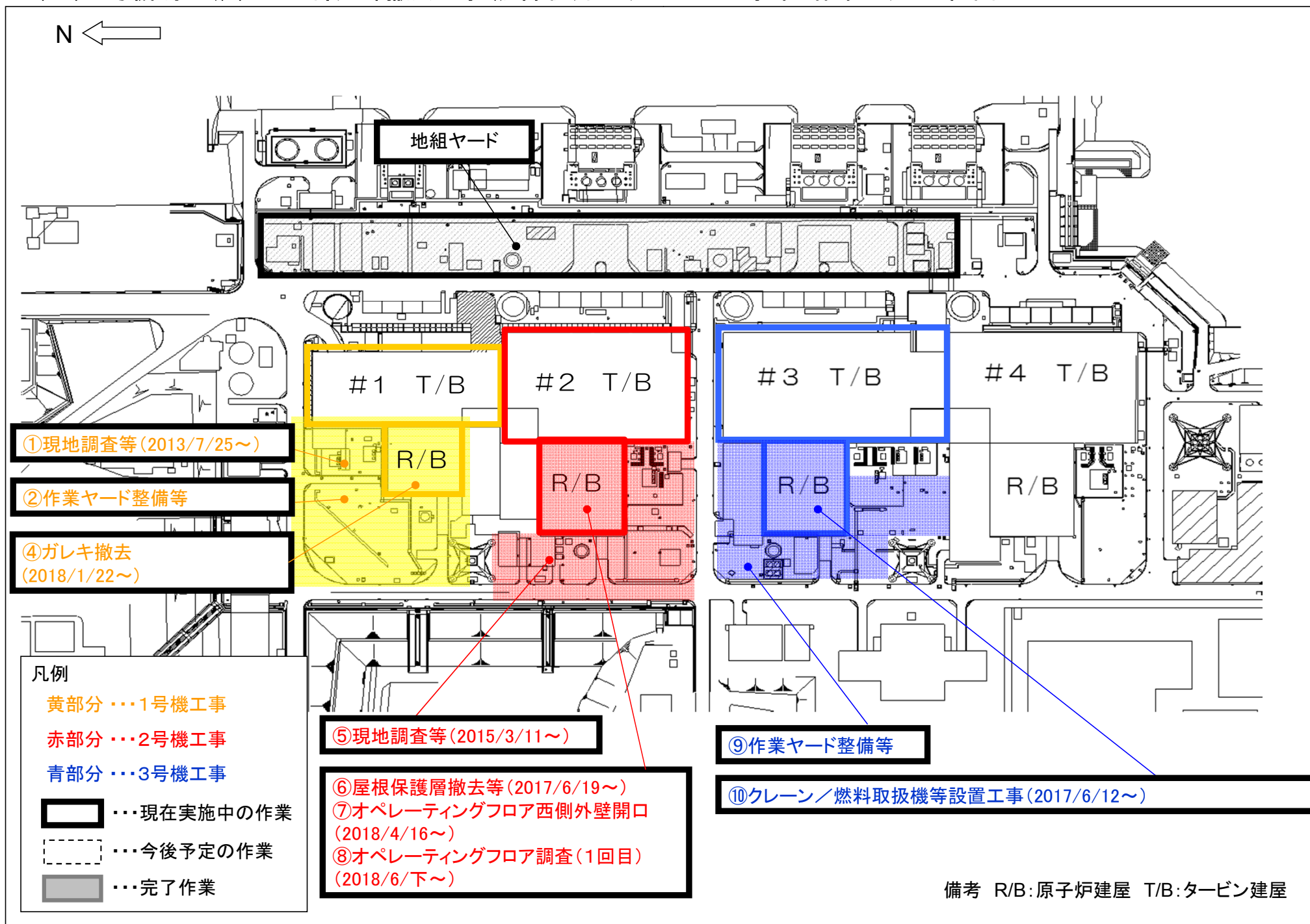


使用済燃料プール対策 スケジュール

分野名	括り	作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後1ヶ月の予定	3月					4月					5月			6月			7月	備考	
				25	1	8	15	22	29	6	13	20	27	上	中	下	期	後				
使用済燃料プール対策	カバー	燃料取り出し用カバーの 詳細設計の検討 原子炉建屋上部の ガレキの撤去 燃料取り出し用カバーの 設置工事	1号機	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・作業ヤード整備 ・ガレキ撤去	検討・設計 基本設計 ガレキ状況調査結果等の分析・評価、ガレキ撤去計画の継続検討																【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：'14/10 →プール燃料取り出しに特化したプランを選択 ○建屋カバー解体 ・屋根パネル外し：'15/7/28~10/5 ・壁パネル取り外し：'16/9/13~'16/11/10 ・カバー柱・梁取り外し：'17/3/31~'17/5/11 ・オペレーティングフロア調査：'17/5/22~'17/8/25 ・カバー柱・梁等取り付け：'17/8/29~'17/12/19 ・片付け、準備：'17/12/20~'18/1/19 ○ガレキ撤去 ・北側ガレキ撤去：'18/1/22~ ・Xブレース撤去準備：'18/5/初~ 【規制庁関連】 ・1号機北側ガレキ撤去、中央ガレキ一部撤去、外周鉄骨一部撤去 実施計画変更認可申請の一部補正（2018/4/13） ※○番号は、別紙配置図と対応	
			2号機	(実績) ・燃料取り出し方法の基本検討(SFP養生 ・オベフロ残置物撤去方法の検討含む) ・現地調査等 ・屋根保護層撤去等 (予定) ・燃料取り出し方法の基本検討 ・現地調査等 ・屋根保護層撤去等 ・オペレーティングフロア西側外壁開口	検討・設計 基本検討																	【主要工程】 ・燃料取り出し計画の選択：継続検討 ・ヤード整備工事：'15/3/11~'16/11/30 ・西側構台設置工事：'16/9/28~'17/2/18 ・前室設置工事：'17/3/3~'17/5/16 ・屋根保護層撤去（遠隔重機作業）：'18/1/22~ ・オペレーティングフロア西側外壁開口：'18/4/16~ ・鉄骨トラス状況確認：'18/2/28~'18/3/17 ・オペレーティングフロア調査（1回目）：'18/6/下~ 【規制庁関連】 ・西側外壁開口設置 実施計画変更認可（2017/12/21） ※○番号は、別紙配置図と対応
			3号機	(実績) ・作業ヤード整備 (予定) ・作業ヤード整備	検討・設計 (3号燃料取り出し用カバー) 詳細設計、関係箇所調整																	
				現場作業	①現地調査等（'13/7/25~） ②作業ヤード整備等 ④ガレキ撤去 北側ガレキ撤去 ミスト散水設備、ベンチ、クレーン不具合によりオベフロ作業中断 Xブレース撤去準備																	
				現場作業	⑤現地調査等 ⑥屋根保護層撤去等 屋根保護層撤去（遠隔重機作業） ⑦オペレーティングフロア西側外壁開口 西側外壁開口（調査用コア削孔、解体用コア削孔、目地切り） ⑧オペレーティングフロア調査（1回目） 追加 オペレーティングフロア調査（1回目） 工程細分化																	

1, 2, 3号機 原子炉建屋上部瓦礫撤去工事 燃料取り出し用カバー工事 他 作業エリア配置図



1号機原子炉建屋ガレキ撤去における ミスト散水設備・小型ペンチ・750tクレーンの 不具合事象について

2018年4月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

【北側ガレキ撤去時のダスト飛散抑制対策】

- 崩落屋根上、下のガレキに対し、飛散防止剤を月1回の頻度で散布する。（定期散布）また、作業で新たに露出した範囲に対し、飛散防止剤を作業後に散布し、ダストを固着する。
- ダスト飛散リスクのさらなる低減のため、防風フェンスを設置。（2017年12月完了）
- 万一、警報が発報した場合に緊急散水を行うためのミスト散水設備を設置。（2016年6月完了）

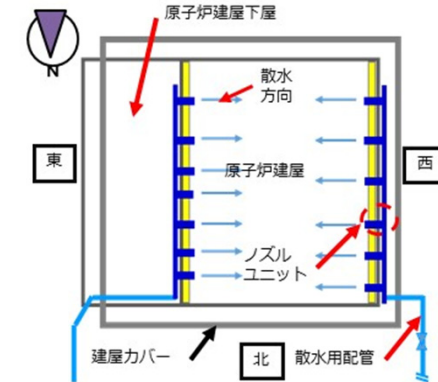
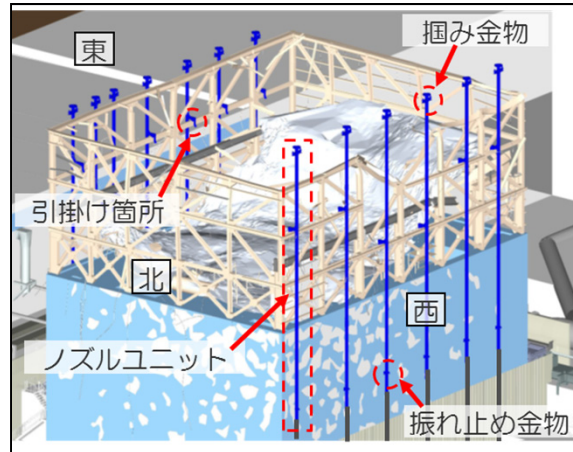
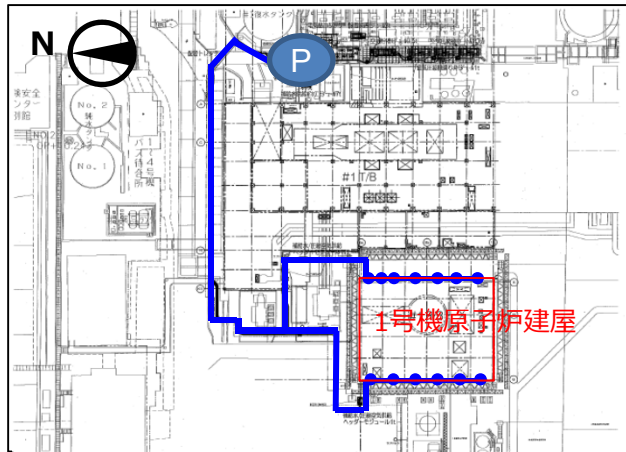


- 4月5日に空気圧縮機の不具合が発生し、ミスト散水設備による緊急散水が出来なくなった。（過去にも事例あり）
- なお、上記不具合期間中、オペフロのダスト濃度に有意な変化はなく、空気中の放射性物質濃度は、オペフロダスト濃度警報設定値※（ $5.0 \times 10^{-3} \text{Bq/cm}^3$ ）に対し低い値で推移した。

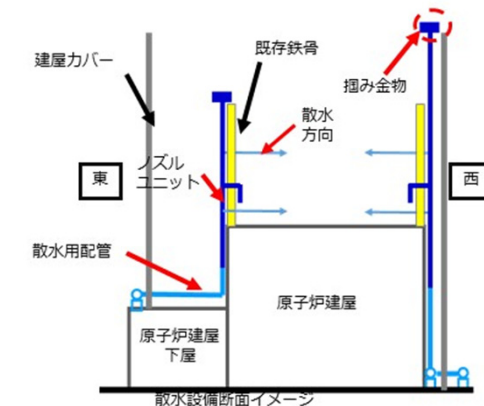
※ 敷地境界モニタリングポスト近傍のダストモニタ警報値より設定した公衆被ばくに影響を与えないように設定した値

1 - 2. ミスト散水設備の概要

- ミスト散水設備は、1号機原子炉建屋ガレキ撤去で万一ダストが発生した場合、オペレーティングフロアに水を噴霧する装置。
- 1号機タービン建屋東側に設置したポンプでろ過水を、空気圧縮機で圧縮空気をオペフロ上のノズルまで供給している。



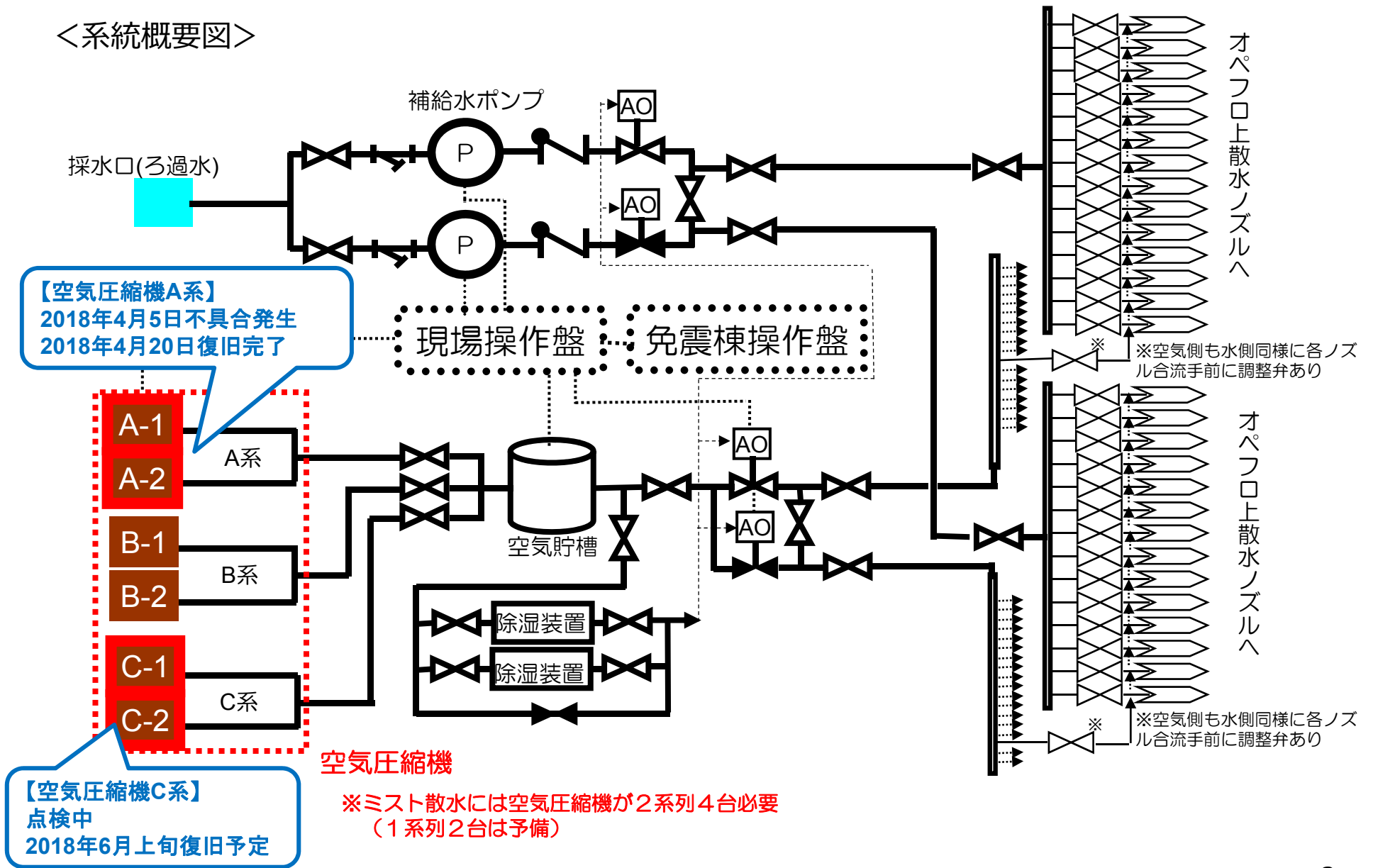
散水設備平面イメージ



散水設備断面イメージ

1 - 3. ミスト散水設備の概略系統図

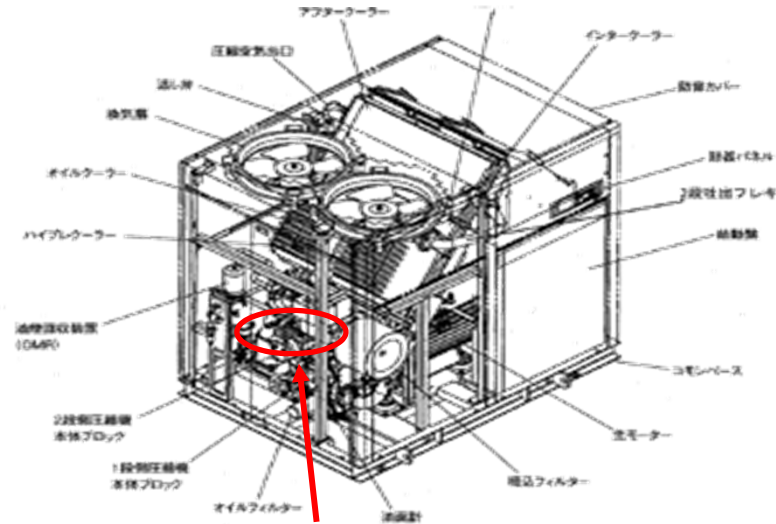
<系統概要図>



1 - 4. 不具合状況及び原因調査

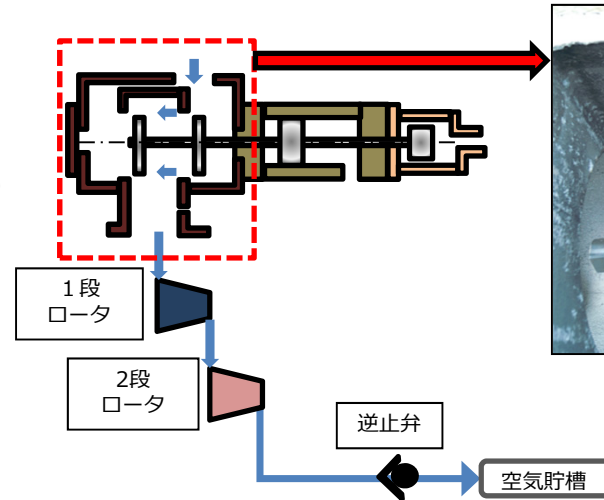
■ 吸込み絞り弁の摺動部及び隙間部に結晶が付着していることを確認した。

<不具合発生箇所>



吸込み絞り弁の取付位置

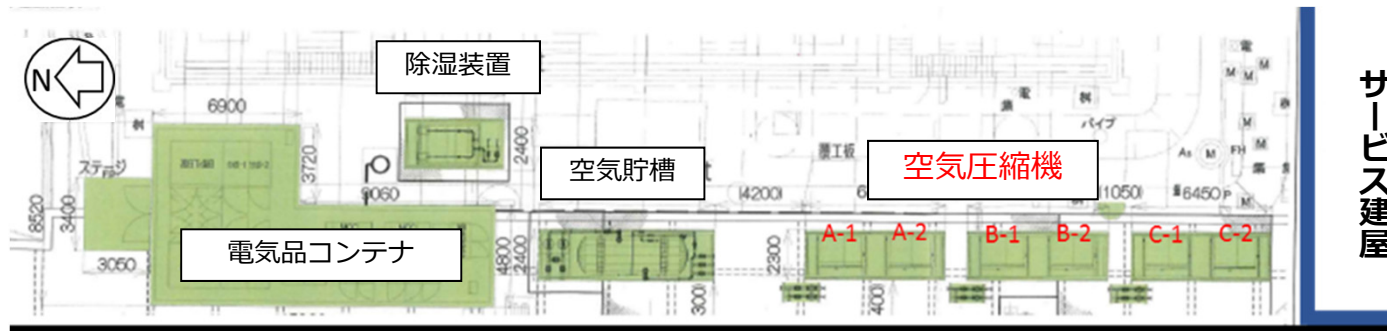
<吸込み絞り弁>



吸込み絞り弁内部写真

空気圧縮機内系統図

<空気圧縮機配置>



1号機タービン建屋

サービス建屋



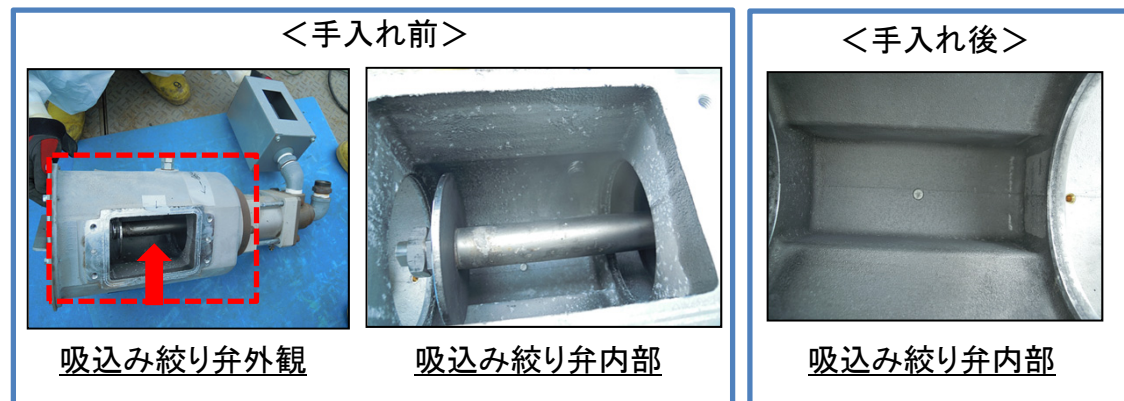
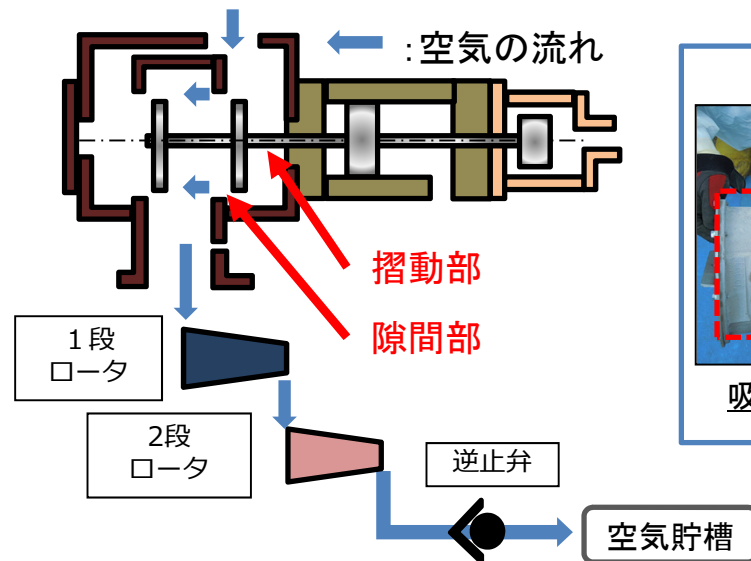
空気圧縮機現場写真

<推定原因>

- 海水成分由来の結晶が、吸込み絞り弁摺動部及び隙間部に付着し、空気の吸込み量が絞られた。
- 空気の吸込み量が少ない状態で運転したため、吐出温度が上昇した。
- 吐出温度上昇により、空気圧縮機吐出温度異常の警報が発報した。

<対策>

- 不具合箇所について部品の交換及び手入れを実施し、4/20に復旧完了。
- 不具合箇所の交換部品を確保しておくとともに、恒久対策を検討中。



2. ガレキ撤去装置（ペンチ）の不具合状況

- 小型ペンチは、1月初旬から実施中の1号機原子炉建屋北側ガレキ撤去に使用していた装置で、ガレキをつまんだり、切断する装置。
- 4月初旬からXブレース撤去の準備作業（支障物撤去）に使用するため整備を行っていたが、受信機に不具合が確認されたため、4月20日に新規受信機に取替。



図1 ペンチ

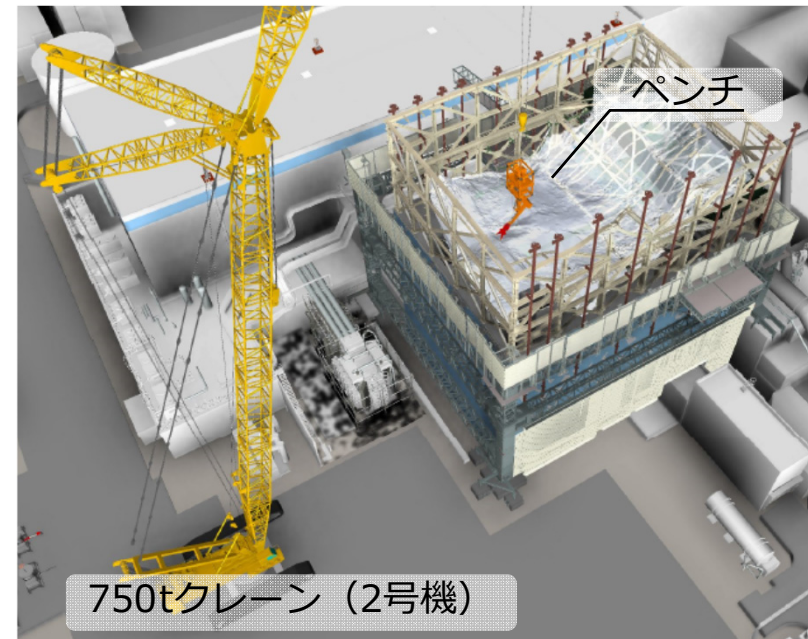


図2 クレーン吊り遠隔操作のイメージ

3. クレーンの不具合状況

- 使用中の750tクレーン（2号機）不具合（図1）
 - 2018年4月9日にクレーン作業を実施していたところ、油漏れ回避のため予め設置していた防油パンへ作動油が滴下していることを発見
 - エンジン内部を確認したところ、オイルクーラー※1からの滴下を確認
 - ※1) エンジンのファンを利用して作動油を空気により冷却する装置
 - オイルクーラーを新規交換し、4月19日に復旧

- 点検中の大型クレーンの状況
 - 1号工事エリアで使用していたもう1台の750tクレーン（1号機）は、年次点検の際、ジブに数ヶ所の小さな変形(凹1~5mm)が確認されたため、当該ジブ部材を新規に製作中。
 - 上記事象を受け、予備機として準備していた800tクレーンに入れ替えを行い、同クレーンの点検を実施中。なお、本点検中に、クレーンを起伏させた際、ジブを損傷。750tクレーン（1号機）の健全なジブ部材との交換を行い、2018年6月末に復旧の見込み。（図3）

現在、北側ガレキ撤去はクレーン1台で実施可能であり、クレーン不具合による工程影響は無い



図1 750tクレーン（2号機）
オイルクーラー不具合

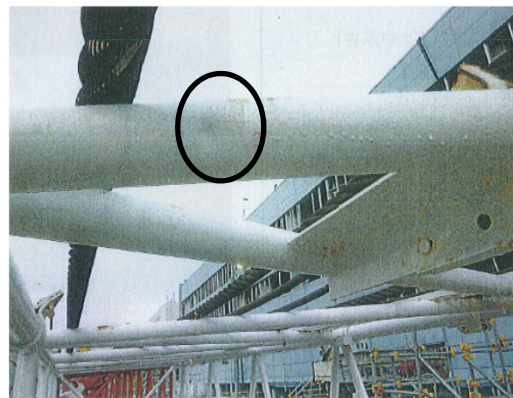


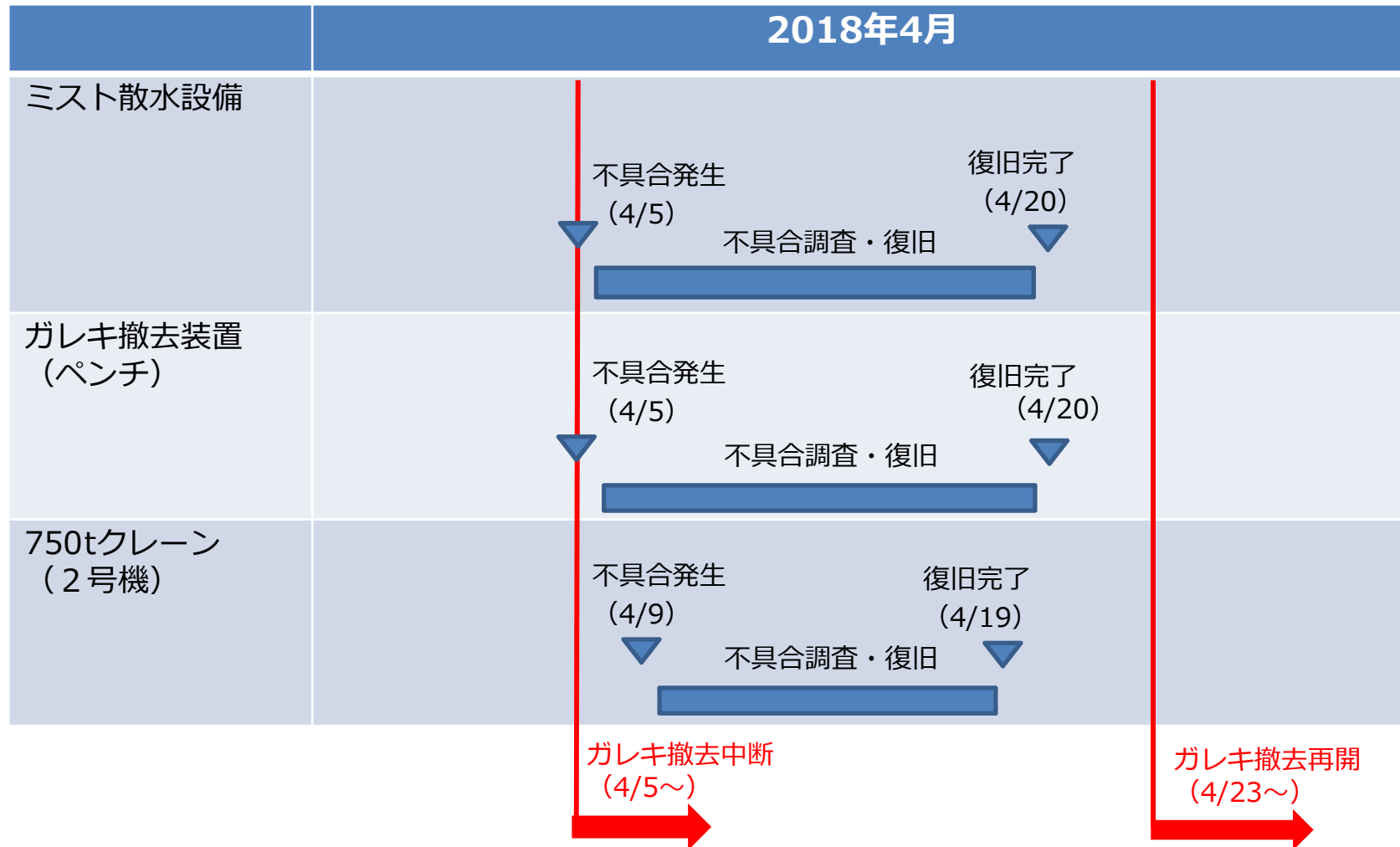
図2 750tクレーン（1号機）
ジブ凹不具合



図3 800tクレーン
ジブ損傷不具合

4. 不具合対応実績

- 各不具合は、4/20に復旧完了しており、4/23からガレキ撤去作業を再開した。



(参考) 北側ガレキ撤去時のダスト飛散抑制対策 (予防・緊急)

- 崩落屋根上、下のガレキに対し、月1回の頻度で飛散防止剤を散布 (定期散布) し、ダストを固着し、飛散を抑制する。
- ダスト飛散リスクのさらなる低減のため、防風フェンスを設置済み。
- 万一、警報が発報した場合には、緊急散水を行う。

目的	ダストの飛散抑制		風の流入抑制	ダスト飛散の抑制
方法	飛散防止剤散布		防風フェンス	緊急散水
頻度	1回/月		—	警報発報時
イメージ				<p>2016年6月撮影</p>

不具合によりミスト散水不可となった




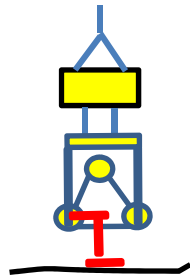
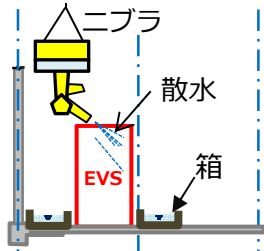
(参考) 北側ガレキ撤去時のダスト飛散抑制対策 (作業時)

【飛散防止剤】

- 作業前は、飛散防止剤の定期散布により、ダストが固着されている状態である。また、作業で新たに露出した作業範囲に対し、飛散防止剤を散布することで、オペフロ面は常にダストが固着されている状態にする。

【撤去工法】

- 崩落屋根撤去は、ダスト発生量の少ない吸引、把持、切断で行う。
- エレベーターシャフト(EVS)圧碎時には、局所的な散水を行う。
- さらなるダスト飛散リスク低減に向けた対策の立案は、今後も継続して行っていく。

撤去対象	崩落屋根			EVS	
	ルーフブロック等	屋根スラブ	屋根鉄骨等		
主な撤去機器	吸引装置、ペンチ		カッター、ペンチ	ワイヤーソー	ニブラ
撤去方法	吸引・把持  吸引装置  ペンチ		切断  カッター	切断 	圧碎  ニブラ 散水 EVS 箱

福島第一原子力発電所 2号機 2号機原子炉建屋西側外壁開口の進捗状況について

2018年4月26日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1. 2号機原子炉建屋西側外壁開口の進捗状況について

- 2号機原子炉建屋西側外壁開口作業を4月16日より開始しました
- 4月16, 17日に調査用コア採取を実施し、建屋内壁面の汚染状況を確認した結果、調査コア9本の内最大で $2.9 \times 10^2 \text{Bq/cm}^2$ であり、入域実績がある原子炉建屋1階の汚染密度と同程度の値であることを確認しました
- 放射性物質濃度を監視しているダストモニタや、敷地境界に設置してあるモニタリングポストにおいて、有意な変動はありませんでした
- 今後、採取したコアは構外に搬出し詳細な分析を行う予定です



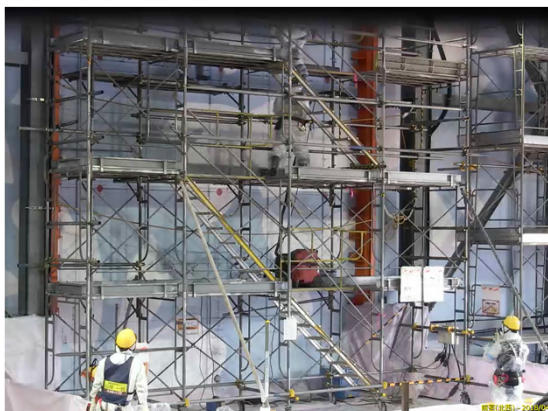
コア削孔装置設置状況



コア採取状況

2. 作業状況について

- 調査用コア採取に伴う、壁面削孔箇所近傍の空間線量率の推移は以下のとおり
 - 削孔開始前 : [下段] 0.45 [中段] 0.5 [上段] 1.00 (単位: mSv/h)
 - 削孔終了直後: [下段] 1.00 [中段] 2.5 [上段] 3.00 (単位: mSv/h)
- 調査箇所は孔塞ぎを実施し、作業開始前と同程度の空間線量率である事を確認



調査用コア採取の作業状況 (全景)



調査用コア採取の状況



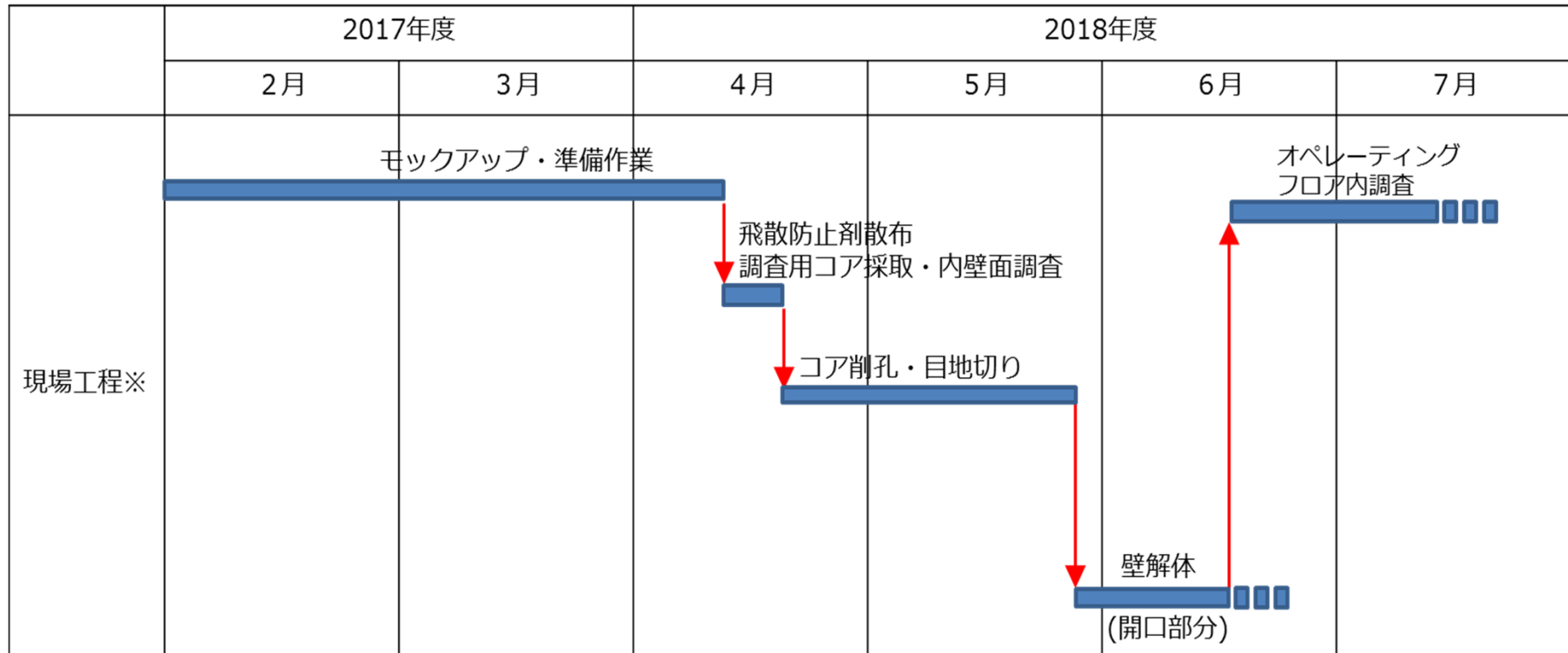
調査用コア採取状況



調査箇所の孔塞ぎ状況

3. 今後の西側外壁開口の工程について

- 4月16,17日に調査用コア採取・内壁面調査完了
- 4月18日からコア削孔開始（4/24現在:約7割完了）



※今後の作業進捗により，工程は変動する可能性があります

4. 2号機原子炉建屋 鉄骨トラス状況について

- 2号機使用済燃料プール内の燃料取り出しに向け、原子炉建屋上部の解体を遠隔装置による建屋解体を計画している。そのため、遠隔解体装置の計画検討に必要な情報として、鉄骨トラスが図面情報と相違がないか現場状況を確認しました
現時点では相違がないことを確認したため、引き続き計画検討を進めます
- 確認方法：屋上に設置されている貫通孔を利用し、カメラを建屋内部に挿入し撮影
- 期 間：2018/2/28～2018/3/17（準備期間等含む）



屋根鉄骨トラスと屋根スラブの状況



屋根鉄骨トラスと付属設備の状況

1号機飛散防止剤散布実績及び予定
3号機オペレーティングフロアの連続ダストモニタの計測値

2018年4月26日



東京電力ホールディングス株式会社

1.定期散布（1号機）

定期散布	
目的	オペレーティングフロア（以下、オペフロ）上へ飛散防止剤を定期的に散布し、ダストの飛散抑制効果を保持させることを目的とする。
頻度	1回/月
標準散布量	1.5L/m ² 以上
濃度	1/10
散布範囲	<p>【凡例】 : 散布範囲</p>
散布面積	1,234m ²

2.作業時散布・定期散布の実績及び予定（1号機）

作業時散布			
目的	オペフロ上での（ガレキ撤去や除染等）作業に応じて、飛散防止剤を散布し、ダストの飛散を抑制することを目的とする		
標準散布量	1.5L/m ² 以上	濃度	1/10
散布対象作業	北側ガレキ撤去		
定期散布の実績及び予定			
計画（3月）	実績（3月）	計画（4月）	
完了予定日：4月9日 	完了日：4月9日 	完了予定日：5月17日 	

【凡例】 ：計画散布範囲 ：実績散布範囲

平成30年4月26日時点

3.作業時散布の実績及び予定（1号機）

								当該週の散布範囲		
3月	日	25 (日)	26 (月)	27 (火)	28 (水)	29 (木)	30 (金)	31 (土)	-	
	散布対象作業	-	北側ガレキ撤去	北側ガレキ撤去	-	-	-	-		
	散布面積合計 (m2)	-	30	30	-	-	-	-		
	平均散布量 (L/m2・回)	-	5.0	5.5	-	-	-	-		
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.53E-04 (最大) ND (最小)	1.43E-04 (最大) ND (最小)	1.72E-04 (最大) ND (最小)	1.79E-04 (最大) ND (最小)	1.17E-04 (最大) ND (最小)	1.24E-04 (最大) ND (最小)	9.97E-05 (最大) ND (最小)		
4月	日	1 (日)	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)	7 (土)	-	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-		
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-		
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.07E-04 (最大) ND (最小)	1.15E-04 (最大) ND (最小)	1.22E-04 (最大) ND (最小)	1.17E-04 (最大) ND (最小)	1.17E-04 (最大) ND (最小)	1.46E-04 (最大) ND (最小)	1.94E-04 (最大) ND (最小)		
	日	8 (日)	9 (月)	10 (火)	11 (水)	12 (木)	13 (金)	14 (土)		
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-		
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-		
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.00E-04 (最大) ND (最小)	9.55E-05 (最大) ND (最小)	1.36E-04 (最大) ND (最小)	1.26E-04 (最大) ND (最小)	1.14E-04 (最大) ND (最小)	1.24E-04 (最大) ND (最小)	1.44E-04 (最大) ND (最小)		
	日	15 (日)	16 (月)	17 (火)	18 (水)	19 (木)	20 (金)	21 (土)	-	
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-		
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-		
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.09E-04 (最大) ND (最小)	1.31E-04 (最大) ND (最小)	1.61E-04 (最大) ND (最小)	9.E-05 (最大) - (最小)	9.E-05 (最大) - (最小)	1.E-04 (最大) - (最小)	1.E-04 (最大) - (最小)			
日	22 (日)	23 (月)	24 (火)	25 (水)	26 (木)	27 (金)	28 (土)	-		
散布対象作業	-	-	-	-	-	-	-			
散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-			
平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-			
連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	1.41E-04 (最大) ND (最小)	1.44E-04 (最大) ND (最小)	1.10E-04 (最大) ND (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)			
5月	日	29 (日)	30 (月)	1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)		5 (土)	-
	散布対象作業	-	-	-	-	-	-		-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-		
	平均散布量 (L/m2・回)	-	-	-	-	-	-	-		
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ※1	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)		

※ 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値、ND=不検出

平成30年4月25日時点

4.オペレーティングフロアの連続ダストモニタの計測値 (3号機)



								当該週の散布範囲	
3月	日	25 (日)	26 (月)	27 (火)	28 (水)	29 (木)	30 (金)	31 (土)	
	散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	2.07E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.37E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.91E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.56E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	1.87E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	1.63E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.84E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	
4月	日	1 (日)	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)	7 (土)	
	散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	1.74E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.44E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.38E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.51E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	1.59E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	1.79E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.23E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	
	日	8 (日)	9 (月)	10 (火)	11 (水)	12 (木)	13 (金)	14 (土)	
	散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	2.54E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	1.89E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.49E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	1.91E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.34E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	1.87E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.71E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	
	日	15 (日)	16 (月)	17 (火)	18 (水)	19 (木)	20 (金)	21 (土)	
	散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	2.28E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.22E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.07E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	1.62E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	1.93E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	9.99E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	3.38E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	
	日	22 (日)	23 (月)	24 (火)	25 (水)	26 (木)	27 (金)	28 (土)	
	散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	3.23E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	8.88E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	2.99E-05 (最大) ND ^{※3} (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	
5月	日	29 (日)	30 (月)	1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)	5 (土)	
	散布対象作業 ^{※4}	-	-	-	-	-	-	-	
	散布面積合計 (m2)	-	-	-	-	-	-	-	
	平均散布量 (L/m2・回) ^{※1}	-	-	-	-	-	-	-	
	連続ダストモニタの計測値 (Bq/cm3) ^{※2}	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	- (最大) - (最小)	

※1 平均散布量は作業前、作業後に分けて記載

※2 表記の連続ダストモニタ計測値は速報値

※3 ND=不検出

平成30年4月25日時点

※4 遮へい体設置完了に伴い定期・作業時散布は終了

【1号機原子炉建屋北側ガレキ撤去】

■ 3月26日（木）～4月25日（水）の主な作業

- ・ 北側ガレキ撤去
- ・ Xブレース撤去準備
- ・ 飛散防止剤の定期散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ 資機材整備

□ 作業進捗



撮影：2018年4月16日

■ 4月19日（木）～5月23日（水）の主な作業予定

- ・ 北側ガレキ撤去
- ・ Xブレース撤去準備
- ・ 飛散防止剤の定期散布
- ・ ダストサンプリング
- ・ 資機材整備

■ 備考

- ・ なし

【3号機 燃料取扱設備設置工事】

■ 4月の主な作業

- ・ 燃料取扱機・クレーン試運転
- ・ 燃料取扱機・クレーン関連設備設置
- ・ 資機材整備

■ 作業状況写真



3号機原子炉建屋オペフロ 試運転状況



遠隔操作室 試運転状況

■ 5月の主な作業予定

- ・ 燃料取扱機・クレーン試運転
- ・ 燃料取扱機・クレーン関連設備設置
- ・ 資機材整備

■ 備考

- ・ なし

以 上

使用済燃料等の保管状況

保管場所	保管体数(体)				取出し率	(参考) H23.3.11時点	備考
	使用済燃料プール		新燃料貯蔵庫	合計			
	新燃料	使用済燃料	新燃料				
1号機	100	292	0	392	0.0%	392	
2号機	28	587	0	615	0.0%	615	
3号機	52	514	0	566	0.0%	566	
4号機	0	0	0	0	100.0%	1,535	
5号機	168	1,374	0	1,542	0.0%	1,542	・H23.3.11時点の体数は炉内含む
6号機	198	1,456	230	1,884	0.0%	1,704	・H23.3.11時点の体数は炉内含む ・使用済燃料プール保管新燃料のうち180体は4号機新燃料
1～6号機	546	4,223	230	4,999	21.3%	6,354	

保管場所	保管体数(体)			保管率	(参考) 保管容量	備考
	新燃料	使用済燃料	合計			
キャスク仮保管設備	0	1,550 ^{※1}	1,550	52.9%	2,930	キャスク基数30 ^{※3} (容量:50基)
共用プール	24	6,564 ^{※2}	6,588	96.9%	6,799	ラック取替工事実施により当初保管容量6,840体から変更

	保管体数(体)		
	新燃料	使用済燃料	合計
福島第一合計	800	12,337	13,137

※: 前回(2018年3月29日)報告時の値
 ※1: 1,550
 ※2: 6,564
 ※3: 30

